

令和6年度

ライフサポート りんどう

年 報

社会福祉法人 長野りんどう会

ま え が き

令和6年度は、3年に一度の報酬改定の年で、基本報酬の改定率は1.12%、職員の処遇改善は2.5%の引き上げ、処遇改善を合わせると1.5%を上回る改定とされました。

主な改正点として、生活介護事業では、開所時間に対する報酬から実利用時間に応じた報酬となり、共同生活援助事業（グループホーム）では、職員配置が緩和され、ともに基本報酬単位が減少しました。

また、昼食の食事提供加算の条件が厳しくなり、栄養士等による栄養管理のほか、摂取量の記録や体重の管理が義務付けられました。これに伴い、今まで自前の献立で提供していたものを、栄養管理のできている外部委託の弁当に変更しました。

次に、利用者数の状況は、フレッシュとくまの自立訓練（宿泊型）事業、介護事業など増加した事業が多かった一方、ゆったりんどうとワークス上駒の就労継続支援B型事業及び自立訓練（生活訓練）事業では減少となりました。

このほか、旧こまざわハウスが、建物の老朽化や無人となったことから事故等を考え、11月に取り壊しを行いました。

給付費収入では、自立訓練（宿泊型）事業において、医療保護観察制度及び長期入院者の地域移行の方の利用が多く増収となりました。しかし、他の利用者と比べ、障害特性が強く出現することや、通院同行が必要であるなどの支援が増えました。

生活介護事業と共同生活援助事業（グループホーム）では、利用者は前年度に比べ増加しましたが、報酬が減額となったことから、給付費収入は減少となりました。

全体を通してみると利用者数が増えた割に、給付費収入は期待以上に伸長しませんでした。

一方、支出では、人件費が職員の1名増、処遇改善手当の増額、前年度末に退職した職員の退職一時金などがあり、多額の増額となりました。また、給食費や光熱水費が増額となりました。

また、特別費として、旧こまざわハウスの取り壊しに伴い、解体費用及び除却損を計上することになりました。

結果、合計では、558万円の利益にとどまりました。

この利益について、将来の施設建設や大改修の財源とするため積立てを行います。

今後の事業の運営に当たりましては、精神科病院では若年者の入院患者の減少傾向であるなど実態を把握し、入所施設や病院からの地域移行を進め、障害者が希望する地域生活を送れるよう支援していきます。

以上のように、令和6年度の法人経営の状況などをまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

皆様方におかれましては、今後ともご指導、ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年7月

社会福祉法人長野りんどう会

理事長 松橋良三

目 次

まえがき

I 法人全体の状況

1	法人の理念	1
2	事業報告	1
	監査報告書	12
資料1	令和6年度 施設全体行事	13
資料2	令和6年度 各専門系の活動状況	14
資料3	令和6年度 地域交流・地域貢献事業への参加状況	16
資料4	令和6年度 苦情解決状況	17
資料5	令和6年度 施設利用料等一覧	18
資料6	令和6年度 職員外部研修参加状況一覧	19
資料7	令和6年度 視察見学者の状況	21
資料8	令和6年度 実習生受入状況	21
3	令和6年度 収入支出決算状況	22

II 各サービス事業の実績

1	指定生活介護事業（フレッシュとくま）	27
2	指定短期入所事業（フレッシュとくま）	28
3	指定自立訓練（宿泊型）事業（フレッシュとくま）	29
4	指定自立訓練（生活訓練）事業（フレッシュとくま）	31
5	指定共同生活援助事業（グループホーム）	32
6	指定自立生活援助事業（自立生活支援室）	34
7	指定就労継続支援B型事業（ワークス上駒）	36
8	指定就労継続支援B型事業（ゆったりんどう）	37
9	指定就労定着支援事業（ワークス上駒 就労定着支援室）	39
10	指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）	40
11	指定特定相談支援事業（相談室）	41
12	指定居宅介護・重度訪問介護事業（ヘルパーステーションてくてく）	42

III 法人支援組織の状況

1	令和6年度 長野りんどう会後援会の状況	43
2	令和6年度 ライフサポートりんどうボランティア活動状況	45
3	令和6年度 ライフサポートりんどう家族会の状況	46

<参考資料>

1	令和6年度 役員等名簿	47
2	令和6年度 職員名簿	48

I 法人全体の状況

1 法人の理念

「私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。」

2 事業報告

令和6年度事業計画に基づいて実施した内容について、次のとおり報告します。

総括

1 事業の取組及び成果

当期の事業状況につきましては、地域周辺に就労継続支援B型事業所の新規開設や、就労継続支援A型事業所等へのステップアップも含めて通所先の変更があり、利用者は減少しました。就労事業所以外でも、利用者数が定員に達しなかった事業所がありました。

給付費収入につきましては、生活介護事業が、事業所の開所時間から利用時間に応じた給付費に変更となったため、利用者数が増えているのに、収入減となりました。一方、自立訓練（宿泊型）事業において、特別加算の対象となる医療観察制度による利用者を引き受けていることと、職員配置の工夫で補填ができました。

一方、費用の面におきましては、人件費では職員給料等が増額となりました。事業費では物価高騰で食費や諸経費、光熱水費すべてにおいて増額となりました。

当期の業績につきましては、自立支援給付費収益は1億9,161万円となり前期に比べ326万円増加しました。当期活動増減差額は558万円となり前期に比べ1,467万円（27.6%）減少となりました。

2 主な事業の取り組み内容

(1) 生活介護事業（定員17人）

健康維持の支援、送迎サービスの実施等により利用者確保に努めた結果、減少していた利用者が増加しましたが、生活介護の基本単価が下がったことと利用時間に応じた給付費となったため収入としては下がりました。今後の課題として、利用者の高齢化などにより、フレッシュ4階の事業場所は検討が必要になっています。

(2) 自立訓練（宿泊）事業（定員17人）

本年度は、医療観察制度等による利用者の途中退所や入所継続が困難になった利用者の途中退所が相次ぎ、年度当初に比べて年度末には大幅に入所者が減少しました。

(3) 自立訓練（日中）（定員6人）

年度当初に、利用期限となる2年間を迎えた利用者が2人いましたが、ゆったりんどうの就労継続支援B型事業所に移り、1週間に2～3日の継続利用となり自宅から通われています。

(4) 共同生活援助事業（グループホーム）（定員27人）

新に一人暮らしに近い形で生活したいとの希望があり、サテラト型グループホームを開設し定員を1人増やしました。体験者を受け入れ入居に繋げることができました。

(5) 就労継続支援B型事業「ワークス上駒」(定員34人)

新規利用者が増えておらず定員に満たない日が続いています。清掃作業、除草作業の収入減はありましたが新規の民泊の清掃作業など、新規作業を開拓し工賃の減少は最小限に抑えることが出来ました。次のステップへの希望がある利用者にはハローワークの登録等を行い就労や就労継続支援A型の紹介などもおこないました。

(6) 就労継続支援B型事業「ゆったりんどう」(定員14人)

数年ぶりに地元小学校より、学校行事への参加の依頼をいただき参加しました。コロナ禍で途切れていた地域とのつながりを再開し、今後も継続していけるように準備していきたいと考えています。

3 新年度の取組

給付費収入の安定を図るため、現在の職員で加算等の給付費が増加するよう人員配置を工夫します。また、職転により正職員への昇格や育児・介護休業規程の見直し、休日勤務手当の支給等の待遇改善による職員の勤務意欲向上や離職防止等を図っていきます。

新年度の業績予想といたしましては、利用者数の減少による給付費の減を新規利用者確保や通所利用率アップで今年度と同額の収入を維持したいと考えています。

引き続き第4次3か年計画に沿って、事業を検討し、実施していきます。

法人運営

1 会議等の開催状況

(1) 評議員会(2回開催)

R6. 定時 R6. 6. 24 令和5年度決算及び事業報告

R7. 3月 R7. 3. 24 定款の改訂、令和7年度事業計画及び資金収支予算、共同生活援助事業地域連携推進会議について、職員の異動

(2) 理事会(3回開催)

第102回 R6. 6. 5 令和5年度事業報告及び決算、管理運営規程の改訂、給与規程の改訂、令和6年度定時評議員会の招集

第103回 R6. 10. 23 管理運営規程の改訂、給与規程の改訂、理事長及び常務理事の職務執行状況報告

第104回 R7. 3. 13 定款の改訂、管理運営規程の改訂、就業規則の改訂、嘱託職員就業規則の改訂、非常勤職員就業規則の改訂、育児・介護休業等に関する規程の改訂、給与規程の改訂、令和7年度事業計画及び資金収支予算、評議員候補者の推薦、重要な職員の選任、令和7年3月評議員会の招集、理事長及び常務理事の職務執行状況報告、共同生活援助事業地域連携推進会議について

(3) 監査

監事は、理事会並びに評議員会に出席し、理事の職務の執行状況を監査した。また、決算等の監査結果を報告した。

R6. 5. 21 令和5年度事業及び会計処理全般の監査を実施

(4) 施設運営会議

・開催回数 42回(毎週水曜日午後定例開催)

- ・ 構成員 正副理事長、常務理事、施設長（管理者）、事務長

2 法人運営事務

(1) 規程等の制定、改訂

- ・ 定款の改訂 第 104 回理事会 令和 7 年 3 月評議員会
- ・ 管理運営規程の改訂 第 102 回理事会 第 103 回理事会 第 104 回理事会
- ・ 給与規程の改訂 第 102 回理事会 第 103 回理事会 第 104 回理事会
- ・ 就業規則の改訂 第 104 回理事会
- ・ 嘱託職員就業規則の改訂 第 104 回理事会
- ・ 非常勤職員就業規則の改訂 第 104 回理事会
- ・ 育児・介護休業等に関する規程 第 104 回理事会

(2) 登記関係

- ・ こまざわハウス滅失登記 (R6. 12. 13 登記申請)

(3) 協定・賃貸借契約等関係 (主なもの)

- ・ 長野市有財産賃貸借契約 ワークス西駐車場分 (契約期間 3 年) 更新
契約日 H28. 4. 1 (面積変更 R2. 12. 1) 当年度分 687, 052 円
- ・ 駐車場賃貸借契約 第 2 駐車場分 (自動更新) 4 台 + プレハブ敷地 (2 台)
契約日 H26. 4. 1 契約変更 H28. 6. 1 (一部返還)
追加契約 2 台 R4. 6. 1 ~
追加契約 1 台 R6. 2. 1 ~ 追加後 月 27, 000 円
- ・ 「いなだの家」建物賃貸借契約 (20 年契約)
契約日 H16. 4. 14 月 130, 000 円
変更契約日 R6. 3. 31 (自動更新) 月 130, 000 円
- ・ 「のくとまーる」当初の建物賃貸借契約 (自動更新)
契約日 H24. 3. 26 月 150, 000 円
- ・ 「のくとまーる」の定員増分及び 207 号 (物置) の建物賃貸借契約 (自動更新)
契約日 H24. 9. 25 月 140, 000 円
- ・ 「いなだの家サテライト」ハイツ若夢 205 号室 (上野) (契約期間 2 年)
契約日 R6. 10. 1 月 35, 000 円
- ・ 職員勤怠管理システム関連 (フレッシュ本部・ワークス上駒・スローステップ)
クロノクラウド等サービス 契約先 (株) ミロク情報サービス
契約日 R2. 9. 9 (R5. 3 ~ SS 追加) 月 17, 545 円
タイムレコーダー 月 12, 100 円
- ・ 自動販売機設置協定 (本部・ワークス上駒に各 1 台設置)
協定日 R3. 3. 5 協定先 ダイードリンク(株)
販売手数料 = 1 月の総売上の 18%
- ・ カラオケ機材賃借料 (フレッシュとくま) ・ ・ ・ 第一興商 月 28, 600 円
- ・ スマートエコシステムリース料 (本部建物・ワークス上駒) 年 50, 688 円
・ ・ ・ オリックス
- ・ 福祉大臣ソフト保守料 (2024. 3. 1 ~ 2025. 2. 28) ・ ・ ・ リコージャパン 年 132, 000 円
- ・ ワイズマン給付費ソフトリース料 ・ ・ ・ リコージャパン(株) 月 51, 920 円

- ・自動車リース契約・・・カーソリューションズ(株)
R3.9.17～ 60か月 セレナ フレッシュとくま等送迎用 …新車リース 月 51,150 円
- ・自動車リース契約・・・八十ニオートリース(株)
R7.1/24～ 60か月 ミライース フレッシュ(宿泊) …新車リース 月 38,170 円
R7.1/1～ 24か月 ヴィッツ フレッシュ(宿泊) …再リース 月 25,740 円
R6.4/19～ 84か月 セレナ スローステップ(送迎) …新車リース 月 68,200 円
R4.1/28～ 60か月 タント グループホーム …新車リース 月 27,830 円
R4.1/28～ 60か月 タント 相談室(特定相談) …新車リース 月 27,830 円
R4.2/1～ 72か月 ハイゼットカーゴ ワークス(継続B) …新車リース 月 24,420 円
R4.2/1～R7.1/31 終了 ライフ フレッシュ(宿泊) …リースバック 月 10,120 円
R4.2/1～ 41か月 サクシード ワークス(継続B) …リースバック 月 19,140 円
R4.2/1～ 51か月 アルト ワークス(継続B) …リースバック 月 11,220 円
R4.2/1～ 49か月 アルト てくてく(居宅) …リースバック 月 11,440 円

(4) 業務委託等の契約

- ・廃棄物処理委託定期(宝資源開発(株)) H24.6.11(契約)
H31.2.1(覚書)
R4.4.1(改訂) 基本 月 15,147 円
- ・清掃業務委託(本部建物)・・・直富商事 10月実施 350,900 円
- ・警備委託 夜間防災支援体制(新日本警備保障(株))
フレッシュとくま(本館) H26.2.10(当初契約日) 月 9,900 円
グループホーム(こまざわハウス・いなだの家・のくとまーる)
H26.2.10(当初契約日) 月 27,280 円
- ・税理士会計指導料(長野東会計・小林税理士) 月 41,800 円
- ・健康診断委託(財全日本労働福祉協会) H13.1.17(自動更新)
R6年度実績 36人 267,402 円
- ・小型エレベーターメンテナンス ワークス上駒(ハナニックホームエレベーター(株))
H23.4.1(自動更新) 年 111,100 円
- ・荷物昇降機保守点検(株)マリトコーポレーション) H13.2.1(自動更新) 年 74,800 円
- ・自動ドア保守管理業務委託(本部・ワークス上駒)
(株)長野ナブコ) H30.6.1(自動更新) 年 158,400 円
- ・受水槽清掃保守点検(株)三京) H25.9.1(自動更新) 年 33,000 円
- ・消防用設備保守点検
スローステップ分(ホーチキ(株)) H23.4.1(自動更新) 年 57,200 円
本部分(ホーチキ(株)) H28.4.1(自動更新) 年 330,000 円
ワークス上駒分(株)ナショナル防災) H23.4.1(自動更新) 年 49,500 円
こまざわハウス(新日本警備保障(株)) H26.3.1(自動更新) 年 22,836 円
いなだの家(新日本警備保障(株)) H26.3.1(自動更新) 年 37,708 円
のくとまーる(新日本警備保障(株)) 年 62,480 円
- ・ホームページホスティングサービス(株)いとう R4.2.1～ 月 3,300 円
- ・ホームページドメイン管理料(株)いとう 年 7,700 円

- ・ホームページサーバー証明書更新料 (株いとう 年 38,500円)
- ・コピー機保守 本部 (株葛友) H29.9.14～
1枚あたり/白黒2.1円、カラー14円、2色モノカラー7円
- ・コピー機保守 ワークス上駒 (株葛友) R6.4.23～
1枚あたり/白黒2.5円、カラー15円、2色モノカラー8円
- ・コピー機保守 スローステップ (株葛友) R4.4.22 (5年間) 白黒1枚2.8円

3 施設及び設備整備について(新規)

(1) 固定資産購入等

(建物)

- ・シャッター式物置 取得年月日 R6.12.27 取得価格 2,420,000円

(構築物)

- ・旧こまざわハウス跡地 フェンス 取得年月日 R6.11.30 取得価格 435,200円
- ・旧こまざわハウス跡地 整地 取得年月日 R6.11.30 取得価格 429,600円
- ・いなだの家駐輪場サイクルラック 取得年月日 R6.11.30 取得価格 193,600円
- ・喫煙スペース目隠しフェンス 取得年月日 R6.11.30 取得価格 332,400円

(器具備品)

- ・デジタルカラー複合機 (ワークス) 1式 R6.4.23 605,000円
- ・パソコン (ワークス) 1台 R6.5.9 137,632円
- ・パソコン (フレッシュとくま) 1台 R6.5.9 137,632円
- ・パソコン (ゆったりんどう) 1台 R6.5.9 137,632円
- ・AED (フレッシュとくま・ワークス) 2台 R6.7.31 376,200円

4 資金の状況について(R6.3.31)

- ・寄附金収入 362,670円
- ・当年度資金収支差額 △11,575,897円
- ・当年度施設整備等資金積立額 20,000,000円
- ・年度末施設整備等積立金総額 20,000,000円
- ・年度末純資産総額 610,153,515円
- ・年度末借入金残額 8,694,000円

5 人事管理について

(1) 職員の資質の向上と公正な人事管理を目的とした人事管理システムにより次のとおり実施した。

ア 人事考課 (業務管理) の実施

- ・前期 (4月～9月) 業務の自己評価と施設長による評価を行った。

(2) 雇用状況について (R6.4～R7.3)

- ・採用 正職員1人、嘱託職員0人、非常勤職員2人
- ・退職 正職員0人、嘱託職員0人、非常勤職員4人
- ・職転 嘱託職員⇒正職員0人、非常勤職員⇒嘱託職員0人
- ・R7.3.31 在籍職員数 (3月末退職者含む) 41人
正職員23人、嘱託職員5人、非常勤職員13人(内当直職員4人)

6 職員研修について

職員研修実施要綱（基本計画）に基づき、「令和6年度研修計画」を策定し、計画的な職員研修を行った。

(1) 内部研修

- ・各事業所内でのOJTによる研修の実施（新規職員等）（年間）
- ・朝の職員連絡会議での事象等報告（毎日）
- ・各事業所単位ミーティングでの研修（週1回）
- ・月例職員会議での研修、周知伝達等（月1回）
（制度改正等の解説、BCP（業務継続計画）災害対応、AED使用方法、ヒヤリハット事例、人権啓発・虐待防止、安全運転、業務手順の周知伝達 など）

(2) 外部での一般研修受講

- ・受講した研修等の項目と延べ日数 52項目・109日
- ・研修等受講者延べ数 77人
- ・一人当たり平均研修日数 1.42日
- ・52項目研修開催地（長野市内34、長野市以外県内7、県外0、オンライン11）

(3) 国家資格取得研修

- ・介護福祉士資格取得のための実務者研修 1人
- ・社会福祉士、介護福祉士資格取得 2人

7 施設及び事業経営について

(1) 施設等の経営状況

① 指定生活介護事業(フレッシュとくま)	定員 17人	日平均利用者数	18.2人
② 指定短期入所事業(フレッシュとくま)	定員 3人	日平均利用者数	1.3人
③ 指定自立訓練(宿泊型)事業(フレッシュとくま)	定員 17人	日平均利用者数	9.8人
④ 指定自立訓練(生活訓練)事業(フレッシュとくま)	定員 6人	日平均利用者数	5.1人
⑤ 指定共同生活援助事業(グループホーム)	定員 26人	(R6.10～定員 27人) 日平均利用者数	22.3人
⑥ 指定自立生活援助事業(自立生活支援室)	定員 なし	月平均登録実人数	1.1人
⑦ 指定就労継続支援B型事業 ワークス上駒	定員 34人	日平均利用者数	27.1人
⑧ 指定就労継続支援B型事業 ゆったりんどう	定員 14人	日平均利用者数	13.1人
⑨ 指定就労定着支援事業(就労定着支援室)	定員 なし	月平均登録実人数	1.0人
⑩ 指定一般相談支援事業(相談室)		地域移行支援利用延べ月数	0月
		地域定着支援利用延べ月数	74月
⑪ 指定特定相談支援事業(相談室)		サービス等利用支援	209件
		継続サービス等利用支援	439件
⑫ 指定居宅介護・重度訪問介護事業(ヘルパーステーションてくてく)	定員 なし	月平均登録実人数	29.2人

(2) 事故等の状況

- ・利用者の保険請求分 実績 なし

(3) 事故、苦情等解決状況 (第三者委員・ヒヤリハット事例報告)

発生日時	内 容	経過・解決
7/28(日) 午後 7 時頃	<p>フレッシュ (宿泊) に入所間もない利用者が自室で泣いて、「病院に帰りたい」と訴える。</p> <p>その後、散歩のため外出するが、帰宅時間の午後 8 時になっても帰ってこなかった。</p> <p>【初動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報を共有 ・病院へ上記様子を伝え、病院へ行った場合は連絡をもらえるように依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後 10 時 40 分頃、中央警察から保護したとの連絡があり、警察官がフレッシュまで連れてきてくれた ・その日は泣きじゃくっていたため、自室で休むように伝え、宿直者の見守りとした ・今までも嫌なことがあれば、注意を引くため泣いたり、すぐ見つかるような場所へ出ていくことがあった ・辛いことがあれば、出ていくのではなく、職員に相談するよう諭し、主治医、家族に経過を報告
9/13(金) 午後 7 時 30 分頃	<p>上記の利用者が、午後 7 時 30 分頃、黙ってフレッシュから出て行った。ツルヤの前で、死のうとしたのか走っている車の前に出ようとし、通行人に止められ警察に通報される。</p> <p>フレッシュでは出て行ったことに気づかなかった。</p> <p>警察から電話連絡があったが、留守番電話に切り替えた後だったため警察からの電話に気づかず保健所対応となった。</p> <p>保健師が本人と面談後、主治医に連絡するも、夜間であることから翌日対応になるため、保健師が当該利用者をフレッシュへ連れてきてくれた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、保健師が連れて来るまで、外出には気づかなかった ・翌日、面接を行うと、本人の意向は「入院はしたくない」、また、病院も連休中のため対応困難とのことで、フレッシュで過ごすこととなる ・家族、関係機関に伝え、連休明けの 9/17(火)本人の意思も「入院したい」と変わり、おおむね 1 か月の入院となる。後日、退院の目途が立たず、フレッシュは退所となった ○今後の対応として、遅番職員退勤 (19 時) 後は、玄関自動ドアのスイッチを OFF にし、利用者の出入りを確認する ○留守番電話の設定はしない ○休日の朝、姿を見ない利用者がある場合、在所確認を徹底する
10/8(火) 午前 4 時頃	<p>新日本警備保障より、「センサーが反応したので 1 階玄関の施錠の確認をしてほしい」と連絡が入る。</p> <p>玄関の施錠等は異常ないことを確認し報告する。</p> <p>宿直者がふと思い立ち、午前 5 時頃 1 階裏の出口を確認すると鍵が開いていることに気づく。</p> <p>午前 6 時 50 分頃通行人から、利用者 M さんの保険証等が道に落ちていたと届けてくれたので、部屋を確認し M さんの不在が判明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・午前 7 時 30 分、ライフサポートりんどう緊急ラインにて、M さんの行方不明を全職員に周知 ・午前 8 時 30 分、捜索可能な職員で周囲の道路、店舗等を捜索する ・家族の了解を得て、警察に捜索願いを出すとともに、病院や保護観察所へ報告する。 ・翌日、あらいの道の駅で発見されたと、警察より家族に連絡が入る ・関係機関、家族と調整し、りんどう職員 2 人、社会復帰調整官 1 人、両親が妙高警察署に向かう ・本人は受診を拒否するも病院と連絡を取り、そのまま医療保護入院となった

発生日時	内 容	経過・解決
11/19(火)～ 11/29(金) ワークス上駒 にてコロナの 集団感染発生	<p>事業所内で10人以上の感染者が確認された場合、保健所と長野市に報告の義務があるため報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/19(火)に1人目の感染者が判明し、全事業所で体調の確認を行う ・11/25(月)昨日から熱、喉の痛み、咳等の症状有と4人から連絡が入り、当日2人から不調の訴えあり ・11/26(火)利用者2人、職員1人にコロナ感染の症状が出る ・11/29(金)利用者1人の家族がコロナ感染のため検査すると、陽性と判明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者の中に、グループホーム在籍者がいたため、のくとまーる 206号室にて隔離対応をする ・単身生活者には、地域定着支援により必需品の買い物支援を行う ・全体で、マスク、アルコール消毒、換気、黙食の徹底を行う <p>○今後の対応として、毎日の体調の聞き取りでは、のどの痛みはないか、咳は出ないか、熱はないかなど具体的に確認し、より正確な情報を得るようにする</p> <p>○不調時には遠慮なく休みを取ることも徹底していく</p>

(4) 防災・安全対策

- ・地震、台風等災害のための消火、避難訓練

フレッシュとくま 12回、 ワークス上駒 2回、 スローステップ 2回、
グループホーム (いなだの家・こまざわハウス・のくとまーる 各2回)

- ・消火設備等の点検 2回実施 (専門業者に委託)

- ・感染症対策

新型コロナ等、感染症対策として、換気、利用者及び職員等の検温記録、3密回避、マスク、手洗い、消毒等の徹底、施設内の感染防止として非接触型手指消毒機等活用した。

8 第4次3ヵ年計画の進捗状況について（令和6年度～8年度）

A 指定生活介護事業「フレッシュとくま」（定員17人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 利用者の高齢化に伴い、事業の実施場所を4階から下層階へ移転が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・4階から1階に移転する ・旧こまざわハウス跡地に新築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施場所は、他の事業所の移転と併せ検討を継続する
2 利用時間に応じた報酬減算への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平均利用者数の計算方法の変更に伴う、職員配置数や利用定員の変更を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の利用者数の変動を見極め、職員配置数や利用定員の変更の検討を継続する

B 指定短期入所事業「フレッシュとくま」（定員3人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 現在の建物、職員数で受け入れ可能な利用者を受け入れる	<ul style="list-style-type: none"> ・定期利用者が増えている状況で、現状に即した定員変更を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員変更と同時に併設型事業所から空床型事業所への変更も視野に入れ検討継続

C 指定自立訓練（宿泊型）事業「フレッシュとくま」（定員17人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 グループホームへの事業転換などを検討	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の宿泊型自立訓練の継続及び今後の転換については、行政に相談をしながら検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続はするが、入所者の実態に合わせ、定員を早急に10人にする ・短期入所の空床型への転換も併せて考える

D 指定自立訓練（生活訓練）事業「フレッシュとくま」（定員6人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 宿泊型への入居状況により利用者数が増減する	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊型自立訓練事業の継続と併せ日中生活訓練も実施方針を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊型自立訓練の実施中は、定員を現在の6人で事業継続していく

E 指定共同生活援助事業「グループホーム」（定員27人）

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 交通の便が悪く利用希望者が少ない「いなだの家」をいつまで借りるか	<ul style="list-style-type: none"> ・20年契約の終了時に今後どのような契約内容にするか検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、1年契約にすることで再契約した（契約解除する場合は6か月前に伝える）
2 「のくとまーる」は、老朽化に伴い、グループホーム全体の移転が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし希望の利用者には、転居を推奨するなど検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・空いた部屋は1室ずつ解約できるよう大家の了承を得た
3 「こまざわハウス」利用者の高齢化に伴う支援の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・単独通院が困難な利用者に対し、世話人が通院同行できないか検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の減便や医師の指導を正確に理解できない利用者に対し、通院同行を行う

F 指定自立生活援助事業「自立生活支援室」

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 利用実績は多くは見込めない	・ 宿泊型やグループホームから一人暮らしに移行した利用者が、安心して生活するために必要なことからサービスの継続提供を検討	・ 同行して支援ができるサービスは、居宅介護ではできないことが多いことから、このサービスは継続していく

G 指定就労継続支援B型事業「ワークス上駒」(定員34人)

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 工賃アップを目指し、年間を通し、安定した作業量の確保	・ 年間を通した作業の受託拡大を図るための検討	・ 新規の外作業の拡大を図り、今後も単価のいい作業を受注するよう努める
2 利用希望者の減少に伴う対応	・ 1日平均利用者数を見て、定員変更を検討	・ 定員の変更や他事業所と多機能型事業所として運営するのか検討を継続する

H 指定就労継続支援B型事業「ゆったりんどう」(定員14人)

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 作業スペースの確保	・ スローステップの建物を立て直すか、移転するか検討	・ スローステップは老朽化が著しく、建替え又は移転を最優先で検討していく ・ 現在の建物は解体する
2 利用者に見合う作業量の確保	・ 作業量、作業スペースともに、ワークスとの調整や、今後の方向性を検討	・ ワークスと連携した作業量の調整を行い、引き続き継続する

I 指定就労定着支援事業「就労定着支援室」

令和6年7月事業終了

J 指定一般相談支援事業・指定特定相談支援事業「相談室」

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 地域生活の継続を目指し、地域連携の強化	・ 地域に根差した計画の充実を検討	・ ニーズに合った福祉サービスを受けられるよう調整する ・ 関係機関との連携、調整を行い、サービス状況の確認をする

K 指定居宅介護・重度訪問介護事業「ヘルパーステーションてくてく」

計画期間での検討事項	検討内容	令和6年度の検討結果
1 利用者数は増加しているが、今後は事業を拡充していくのか検討	・ 地域生活に対応し、長期間、個別対応等できるサービス提供の継続、拡充を検討	・ 引き続き事業を継続し、まずは職員のスキルアップを目指す

9 その他

- ・会報誌（No. 68～No. 69）の発行
- ・年報（令和5年度版）の発行
- ・地域、行政、関係団体、地元組織等との連携協力を努めた。
- ・長野市障害者自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）への参加協力をした。
- ・視察や見学・学生実習・職員研修生等を受け入れた。
長野大学1人、長野養護学校1人・見学25人、若槻養護学校2人、長野看護専門学校、須坂看護専門学校、清泉女学院大学看護学部より複数名の実習生を受け入れた。
- ・北部中学校の職場体験学習として生徒2名を受け入れた。

監査報告書（写し）

令和7年5月23日

社会福祉法人 長野りんどう会
理事長 松橋 良三 様

社会福祉法人 長野りんどう会

監 事 塩 澤 一 郎 ㊟

監 事 丹 後 恵 二 ㊟

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

ア 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）意見

ア 事業報告の事故、苦情等解決状況の記述の中で、利用者が無断で外出をし、外部からの連絡があるまで職員が知らなかったとある。このようなことがないように対策を講じてください。

イ 理事会及び評議員会での決議方法については、挙手などにより個人の賛否が明確になる方法に変更してください。

ウ 給付費収入については利用者数の増減や、報酬改定による影響が考えられるので、各施設の定員の見直しに心がけてください。

資料 1

令和 6 年度 施設全体行事

内 容	実 施 日	会 場
ライフサポートりんどう家族会総会	R6.6.21 (金)	ワークス上駒&ホール
長野りんどう会後援会総会	R6.6.29 (土)	ワークス上駒&ホール
のど自慢大会	R7.1.10 (金)	ワークス上駒&ホール

資料 2

令和 6 年度 各専門係活動状況

* 進行管理者

係	令和 6 年度の活動	構成員
1 年報・会報誌係	目標 ・ 令和 6 年度年報の発行 ・ 会報誌 No. 68、No. 69 の発行	* 高野 小沼 田村あ 本山 山崎 四柳 (西澤)
	具体的活動 ・ 年報及び会報誌の発行関係業務（企画、編集・校正、印刷手配、配布・発送手配） ・ 会報誌及び年報の配布形態の検討、印刷部数の検討 ・ 年報及び会報誌の配布先名簿の整理	
	まとめと成果 ・ 年報及び会報誌の発行業務を遅滞なく実行することができた。 ・ 会報誌について、写真やイラストを取り入れるなどの工夫をし、事業の様子等をわかりやすく、また親しみやすく伝えることができるように努めた。 ・ 個人情報や権利に配慮した編集に努めた。 ・ 年報の発行形態について、ウェブサイトでのデータ配布方式を検討し、来年度から変更することにした。	
2 家族会係	目標 ・ 家族会会員一人ひとりの思いや経験を活かして、楽しく参加できる活動を目指す	* 萩原 荒井 関 巾 前山
	具体的活動 ・ 親睦交流会・会員学習会・家族の日の開催 ・ 家族会機関紙「とくまの風」の発行 ・ 古紙、資源回収による資金確保 ・ 雑誌、書籍の案内、情報発信 ・ NPO 法人ながのかれんへの協力	
	まとめと成果 ・ コロナ明け初めて対面での総会を行った。また、交流会や学習会を開催し、多くの参加を頂いた。ご家族が高齢になってきているため、以前よりも出席者が減っている一方で、家族会の存続を望む声もあるため、今後も会員皆様の思いや意見等を反映させながら、内容ややり方等も検討していく。	

係	令和6年度の活動	構成員
3 権利・身体拘束適正化・パワハラ係	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット、苦情対応、身体拘束、虐待についての対応 ・第三者委員の活用 <p>具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期懇談会（月1回） ・第三者委員と苦情解決責任者を招いての定期懇談会（7月、12月、3月の年3回） <p>まとめと成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや皆様の声を係で共有し検討した。 ・身体拘束、虐待の有無についても確認した。 ・定期懇談会での意見は今後に生かすため職員会にて報告した。 	* 上野 小林清 小林孝 武井 和田
4 ホームページ・インスタ係	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きのあるホームページの運用、事業方針に合わせた内容の更新 <p>具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagramの更新があることで、ホームページのトップページの視覚的な動きを出すことができた。 ・各事業所の適時更新により、ホームページの動きの頻度を増やした。 <p>まとめと成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページだけでなくInstagramの個々のシステム更新などでトラブルがあったが、どちらも短期間の内に処理ができた。 ・Instagramも更新され、利用者の方のフォローも継続して付いている。ホームページでの発信が加算の一つにもなるので、一層の情報発信と広報利用が見込まれる。 	* 田村郁 北澤 清水 傳田
5 BCP係 (業務継続計画)	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの現状に合う形に見直しを行う <p>具体的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のBCPの見直し及び災害時のBCPの作成 ・備品の確認と確保 ・研修への参加 <p>まとめと成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCP（感染症・災害時）を現状に合う形で見直しを行った。 ・防災備品の確認をし、不足分を補充できた。 ・研修会に参加することができた。 ・法人に2台AEDを設置し、職員会にて使用方法を周知した。 ・職員会にてBCPについて周知した。 ・備品は非常時に備え定期的に確認していく。 	* 北澤純 上野 佐藤 山口 (西澤)

資料 3

令和 6 年度 地域交流・地域貢献事業への参加状況

行事名・場所・日時	交流内容	参加人数
グループホーム「いなだの家」による地区清掃 ① ごみゼロ(側溝)一斉清掃 (R6. 5. 12、R6. 10. 16) ② ごみ集積所当番 (R6. 5. 10) ③ 公園清掃(稲田南原公園) (R6. 6. 2、R6. 10. 20)	公園清掃や草取り、年に1回の地区ごみ集積所立会当番に積極的に参加した。地区の活動を通し、近隣住民とのコミュニケーションの場としてしっかり活動に参加していきたいと思います。	① 利用者：2名 ② 利用者：2名 職員：1名 ③ 利用者：2名
農村女性ネットワークによる食事会(夕食) フレッシュとくま (R6. 8. 5)	フレッシュとくまにて、農村女性ネットワークの方(4名)との食事会を実施しました。利用者や職員も協力して調理や配膳をし、食事についての話を聞きながら食事を楽しみました。	利用者：12名 職員：2名
上駒沢地区獅子舞 ワークス上駒&ホール (R6. 9. 8)	ワークス上駒&ホールにて、上駒沢地区による獅子舞を実施してもらい、地域との交流ができました。	利用者：5名 職員：1名
徳間地区子ども神輿 ワークス上駒&ホール玄関前 (R6. 9. 21)	ワークス上駒&ホール玄関前にて、徳間地区の子ども神輿を実施してもらい、地域との交流ができました。	利用者：5名 職員：1名
徳間の里まつり 徳間小学校 (R6. 11. 16)	徳間の里まつりバザーに参加し、レッグウォーマー、自主製品の雑巾の販売をしました。販売を通して地域との交流ができ、りんどうを知って頂ける良い機会になりました。	利用者：3名 職員：2名
ワークス上駒による上駒沢地区清掃 ワークス上駒&ホール及びスローステップ周辺 ① R6. 4. 12 ② R6. 9. 13 ③ R6. 11. 8	ワークス上駒とスローステップの事業所と共同で、上駒沢地区の清掃を実施しました。周辺の除草作業及び外溝清掃等を行い、地区の環境美化に貢献することができました。	① 利用者：38名 職員：8名 ② 利用者：28名 職員：7名 ③ 利用者：35名 職員：8名

資料 4

令和 6 年度 苦情解決状況

苦情受付日	苦 情 内 容	解 決 経 過
5/2～5/9 電話 1 回 対面 1 回	<p>利用者より、自分の気持ちを受け止めてほしいが、言っても受け止めてもらえない、担当を変えてほしい、宿泊型事業所にいるから A 型事業所に通えない等の訴えがあった。サービス適正化委員会にも F A X しており連絡をもらう。</p>	<p>常務理事、施設長と面談を行う。退所先についてお金がないため、グループホームへの入居は難しい。公営住宅への応募か、生活支援課で提供できるアパートへ申し込むことになる。</p> <p>働く場所については、A 型事業所へ通い始められている。</p> <p>担当へは何もなかったかのように相談している。</p>
6/21～6/24 本人との電話 1 回、長野市 ハローワーク との電話 1 回	<p>6/21 以前利用していた利用者から、りんどうに電話をしたが、着信拒否をされている、着信拒否はしてよいのかという苦情が長野市障害福祉課に入る。</p> <p>りんどうとして着信拒否はしていない、何度も連絡が来ていたため必要のない電話・メールはしないと約束した経緯を説明。</p> <p>6/24 ワークス上駒へ連絡が入り、就職をしたいが B 型事業所にいた証明書があった方が有利だと話している。ハローワークとも相談した事なのか聞くもはっきりしない。</p> <p>6/24 ワークス上駒よりハローワークへ確認。証明書の話はしておらず体調も安定していないことから就労は難しいのではないかと、北部相談センターと相談した方が良くと伝えたとの事。</p>	<p>6/24 りんどうより本人へ電話し、最近電話をしたかを確認、最近はしていないが以前の事だと話している。</p> <p>りんどうで聞きたい内容は何かを聞くと、ワークス上駒へ話した内容と同じとのこと。</p> <p>相談は北部障害者相談支援センターにするよう伝え、今の状況ではりんどうへの連絡は必要ないが大丈夫ですかと聞き、本人は納得している。</p> <p>この状況の背景として R3 年頃、職員に対し恋心を抱き、うまくいかないことに対し職員を攻撃したり、事業所・第三者委員へ電話やメールで苦情を出した経過がある。その時も必要のない電話はしない約束をした経過もある。</p> <p>今回の電話では今の相談先はりんどうではないと伝えた。今後電話はないはずだが、もし連絡がきた場合は、いろんな職員が対応すると混乱するため、常務理事が対応することにした。</p>

資料5

令和6年度 施設利用料等一覧

施設種別	項目	金額(円)	その他
自立訓練(宿泊型)事業 (フレッシュとくま)	利用料(月額)	21,000	
	食事代(月額)	20,400	昼食代は含まない
	日常生活費(月額)	3,500	
	光熱水費(月額)	8,700	
	個室電気料	実費	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
生活介護事業・ 自立訓練(生活訓練)事業 (フレッシュとくま)	利用料(月額)	※0	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
短期入所事業 (フレッシュとくま)	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
	自立体験事業利用料		市町村で定められた自己負担額
	諸経費(日額)	1,030	
	食事代(日額)	830	
就労継続支援B型事業 (ワークス上駒)	利用料(月額)	※0	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
就労継続支援B型事業 (ゆったりんどう)	利用料(月額)	※0	
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
共同生活援助事業 (グループホーム)	家賃(いなだの家)	25,000	定員6人 (所得により上限10,000円補助あり)
	家賃(こまざわハウス)	36,000	定員10人 (所得により上限10,000円補助あり)
	家賃(のくとまーる)	30,000	定員10人 (所得により上限10,000円補助あり)
	家賃(サテライト ハイ ツ若夢)	35,000	定員1人 (所得により上限10,000円補助あり) ※R6.10.1～サテライト開始
	自立支援給付利用料		法に定められた自己負担額
	傷害保険料(年額)	実費	
	食費(月額)	実費	
	光熱水費(月額)	実費	
	諸経費(月額)	実費	

※令和5年4月1日より各施設の日中活動利用料はなくなりました

資料6

令和6年度 職員外部研修参加状況一覧

番号	名 称	主 催	期 日	日数	人数	延日
1	介護福祉士実務者研修	三幸福祉カレッジ	5/14～6/25	7	1	7
2	福祉職員生涯研修 新任管理者課程	長野県社会福祉協議会	5/31	1	2	2
3	福祉職員生涯研修 OJT リーダー研修	長野県社会福祉協議会	6/11. 7/31	2	2	4
4	第1回 障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	6/14	1	2	2
5	長野県サービス管理責任者基礎研修	長野県相談支援専門協会	6/17	1	1	1
6	算定基礎届事務講習会	長野南年金事務所・協会けんぽ	6/18	1	1	1
7	安全運転管理者講習会	長野県安全運転管理者協会長野支部	6/20	1	1	1
8	長野県サービス管理責任者基礎研修	長野県相談支援専門協会	6/26. 27. 28	3	1	3
9	第1回北信ブロック会議・研修会	長野県セルフセンター協議会	7/5	1	1	1
10	長野県相談支援従事者 初任者研修	長野県相談支援専門協会	7/18. 19 ほか	7	1	7
11	管理監督者向けメンタルヘルス研修	長野県産業保健総合支援センター	8/5	1	8	8
12	精神保健福祉士実習指導者講習会	しかくの学校ホットライン	8/7. 8/21	2	1	2
13	自殺対策支援者研修	長野市保健所	8/9	1	3	3
14	治療と仕事の両立支援 実践編	長野県産業保健総合支援センター	8/20	1	1	1
15	専門コース別研修（就労支援）	長野県相談支援専門協会	8/23	1	1	1
16	人事・労務管理講座	全国社会福祉法人経営者協議会	9/24. 25	2	1	2
17	精神保健福祉講座「地域移行支援についてのシンポジウム」	NPO法人 ポプラの会	9/26	1	2	2
18	北信地区労働フォーラム	長野県北信労政事務所	9/27	1	2	2
19	精神保健福祉講座「心に寄り添って気づきを助ける対話術」	NPO法人 ポプラの会	9/28	1	2	2
20	福祉職員生涯研修 新任職員課程	長野県社会福祉協議会	10/2. 3 11/28	3	2	6
21	社会保険事務講習会	長野南年金事務所・協会けんぽ	10/3	1	1	1
22	第2回 障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市障害福祉課	10/4	1	2	2
23	社会保険事務講習会	日本年金機構・協会けんぽ	10/3	1	1	1
24	ひきこもり支援実践研修	長野県社会福祉協議会	10/7	1	1	1
25	保険医療福祉関係者等研修会(感染症対策)	長野市保険所	10/10	1	2	2
26	コンプライアンス講習会	ソエルクラブ	10/11	1	1	1
27	相談支援従事者 現認研修	長野県相談支援専門協会	10/17 12/16. 17	3	1	3
28	キャリアパス制度運用研修【人事評価編】	長野県相談支援専門協会	10/28	1	1	1

番号	名 称	主 催	期 日	日数	人数	延日
29	第4回 両立支援コーディネーター基礎研修	両立支援コーディネーター基礎研修事務局	10/31	1	1	1
30	働く人のための心の健康アップ研修	長野市保健所	11/8	1	1	1
31	Excel2016 講座	ソエルクラブ		1	3	3
32	工賃向上セミナーⅡ	長野県セルフセンター協議会	11/20	1	2	2
33	世話人連絡会「利用者さんのお金について」	長野市障害福祉ねっと	11/21	1	3	3
34	年金委員・健康保険委員合同研修会	長野南年金事務所	11/26	1	1	1
35	障がい者虐待防止・権利擁護研修会	長野県	11/27	1	1	1
36	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	12/9	1	1	1
37	応急手当普及員講座	長野市消防局	12/9. 10. 11	3	1	3
38	サービス管理責任者更新研修	長野県相談支援専門協会	12/12. 13	2	3	6
39	福祉職員生涯研修 チームリーダー課程	長野県社会福祉協議会	1/16. 17	2	1	2
40	第2回相談支援専門員等スキルアップ研修	長野市南部障害者相談支援センター	1/17	1	1	1
41	第1回北信ブロック会議・研修会	長野県セルフセンター協議会	1/23	1	1	1
42	自殺対策者支援研修会	長野市保健所	1/23	1	1	1
43	個別支援計画作成研修	長野県相談支援専門協会	1/28	1	1	1
44	学習会 障害のある人の居住支援について	長野市障害福祉ねっと	1/31	1	1	1
45	福祉職員生涯研修 中堅職員課程	長野県社会福祉協議会	2/6. 7	2	2	4
46	地域サポーター事業説明会	長野市障害福祉ねっと	2/10	1	1	1
47	長野県サービス管理責任者実践研修	長野県相談支援専門協会	2/13. 14 2/27. 28	4	1	4
48	「地域」と「社会福祉法人」を考えるセミナー	長野県社会福祉協議会	2/19	1	1	1
49	食品衛生責任者実務講習会「飲食店・喫茶店・集団給食編」	長野県食品衛生協会	2/20	1	1	1
50	地域課題検討ワーキング（災害対策）	長野市障害福祉ねっと	2/20	1	1	1
51	第3回 障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市障害福祉課	2/28	1	2	2
52	第2回 全体協議会	長野市障害福祉ねっと	3/24	1	1	1

資料 7

令和 6 年度 視察見学者の状況

視察見学者団体名	見学日	人数
長野養護学校	R6 年 6/13 日 (木)	高等部 1 学年 生徒 : 25 名 職員 : 11 名

資料 8

令和 6 年度 実習生受入状況

実習依頼機関	実習者	実習期間	実習内容
長野看護専門学校	3 年生 : 23 名	R6. 5/24~R6. 9/27 (うち 12 日間)	精神看護学実習
須坂看護専門学校	3 年生 : 6 名	R6. 5/29~R6. 10/17 (うち 6 日間)	精神看護学実習
清泉大学 看護学部 看護学科	4 年生 : 90 名	R6. 9/19~R7. 1/30 (うち 18 日間)	社会復帰施設実習
長野大学 社会福祉学部	3 年生 : 1 名	R7. 2/18~R7. 3/5	精神保健福祉士 資格取得実習
長野養護学校 高等部	2 年生 : 1 名	R6. 11/ 7~R6. 11/13	現場実習 (ワークス上駒)
若槻養護学校 高等部	3 先生 : 1 名 1 年生 : 1 名	R6. 6/10~ R6. 6/14 R6. 10/21~R6. 10/25	現場実習 (ワークス上駒)

3 令和6年度 収入支出決算状況

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	10,930,000	9,610,515	1,319,485
		障害福祉サービス等事業収入	217,858,000	217,651,018	206,982
		経常経費寄附金収入	600,000	362,670	237,330
		受取利息配当金収入	3,000	103,891	△100,891
		その他の収入	427,000	3,186,739	△2,759,739
		事業活動収入計(1)	229,818,000	230,914,833	△1,096,833
	支出	人件費支出	162,462,000	156,689,409	5,772,591
		事業費支出	22,979,000	27,433,879	△4,454,879
		事務費支出	23,443,000	14,932,588	8,510,412
		就労支援事業支出	15,434,000	10,784,639	4,649,361
支払利息支出		38,000	25,679	12,321	
その他の支出		825,000	0	825,000	
事業活動支出計(2)	225,181,000	209,866,194	15,314,806		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		4,637,000	21,048,639	△16,411,639	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄附金収入	100,000	0	100,000
		施設整備等収入計(4)	100,000	0	100,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,512,000	1,512,000	0
		固定資産取得支出	7,537,000	5,542,896	1,994,104
		固定資産除却・廃棄支出	4,000,000	3,645,200	354,800
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,056,000	2,003,320	52,680
	施設整備等支出計(5)	15,105,000	12,703,416	2,401,584	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△15,005,000	△12,703,416	△2,301,584	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,300,000	1,646,448	△346,448
		その他の活動による収入	243,000	242,792	208
		その他の活動収入計(7)	1,543,000	1,889,240	△346,240
	支出	積立資産支出	21,720,000	21,810,360	△90,360
		その他の活動支出計(8)	21,720,000	21,810,360	△90,360
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△20,177,000	△19,921,120	△255,880
予備費支出(10)		4,000,000		4,000,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△34,545,000	△11,575,897	△22,969,103	
前期末支払資金残高(12)		221,280,000	221,280,459	△459	
当期末支払資金残高(11)+(12)		186,735,000	209,704,562	△22,969,562	

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 6年 4月 1日 (至) 令和 7年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	9,610,515	10,475,626	△865,111
		障害福祉サービス等事業収益	217,651,018	214,652,913	2,998,105
		経常経費寄附金収益	362,670	1,074,865	△712,195
		サービス活動収益計(1)	227,624,203	226,203,404	1,420,799
	費用	人件費	156,665,721	146,143,912	10,521,809
		事業費	27,433,879	19,420,698	8,013,181
		事務費	14,960,709	16,803,590	△1,842,881
		就労支援事業費用	10,784,639	15,928,871	△5,144,232
		減価償却費(サービス)	17,640,981	16,633,400	1,007,581
		国庫補助金等特別積立金取崩額(サ)	△7,793,713	△7,986,797	193,084
サービス活動費用計(2)	219,692,216	206,943,674	12,748,542		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		7,931,987	19,259,730	△11,327,743	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	96,072	1,898	94,174
		その他のサービス活動外収益	3,186,739	962,166	2,224,573
		サービス活動外収益計(4)	3,282,811	964,064	2,318,747
	費用	支払利息	25,679	29,762	△4,083
		その他のサービス活動外費用	0	18,690	△18,690
		サービス活動外費用計(5)	25,679	48,452	△22,773
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		3,257,132	915,612	2,341,520	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		11,189,119	20,175,342	△8,986,223	
特別増減の部	収益	その他の特別収益	242,792	242,792	0
		特別収益計(8)	242,792	242,792	0
	費用	固定資産売却損・処分損	5,683,081		5,683,081
		その他の特別損失	165,600	165,600	0
		特別費用計(9)	5,848,681	165,600	5,683,081
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△5,605,889	77,192	△5,683,081	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		5,583,230	20,252,534	△14,669,304	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		244,779,646	219,527,112	25,252,534
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		250,362,876	239,779,646	10,583,230
	基本金取崩額(14)				0
	その他の積立金取崩額(15)			8,000,000	△8,000,000
	その他の積立金積立額(16)		20,000,000	3,000,000	17,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		230,362,876	244,779,646	△14,416,770

法人単位貸借対照表

令和 7年 3月 31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	214,823,446	234,268,996	△19,445,550	流動負債	8,063,084	15,657,336	△7,594,252
現金預金	181,868,835	199,555,354	△17,686,519	事業未払金	3,525,229	6,584,587	△3,059,358
事業未収金	32,139,021	34,051,211	△1,912,190	その他の未払金	0	4,700,000	△4,700,000
原材料	0	28,121	△28,121	1年内返済予定設備資金借入金	1,512,000	1,512,000	0
立替金	9,000	0	9,000	1年内返済予定リース債務	1,432,200	1,184,920	247,280
前払金	588,379	634,310	△45,931	預り金	5,405	2,974	2,431
固定資産	433,130,743	421,381,816	11,748,927	職員預り金	1,588,250	1,672,855	△84,605
基本財産	372,619,035	386,888,614	△14,269,579				
土地（基本）	107,392,800	107,392,800	0	固定負債	29,737,590	27,629,478	2,108,112
建物（基本）	264,226,235	278,495,814	△14,269,579	設備資金借入金	7,182,000	8,694,000	△1,512,000
定期預金（基本）	1,000,000	1,000,000	0	リース債務	4,347,750	869,550	3,478,200
その他の固定資産	60,511,708	34,493,202	26,018,506	退職給付引当金	18,207,840	18,065,928	141,912
建物	2,556,602	179,209	2,377,393	負債の部合計	37,800,674	43,286,814	△5,486,140
建物附属設備	156,962	412,087	△255,125				
構築物	7,672,168	6,998,285	673,883	純 資 産 の 部			
車輛運搬具	3	3	0	基本金	171,470,885	171,470,885	0
器具及び備品	5,087,369	5,485,027	△397,658	第1号基本金	81,840,885	81,840,885	0
有形リース資産	5,779,950	1,483,350	4,296,600	第3号基本金	89,630,000	89,630,000	0
権利	130,000	130,000	0	国庫補助金等特別積立金	188,319,754	196,113,467	△7,793,713
ソフトウェア	194,003	405,643	△211,640	その他の積立金	20,000,000	0	20,000,000
無形リース資産	0	623,040	△623,040	設備等整備積立金	20,000,000	0	20,000,000
リサイクル預託金	30,630	30,630	0	次期繰越活動増減差額	230,362,876	244,779,646	△14,416,770
その他固定資産（無形）	680,000	680,000	0	次期繰越活動増減差額	230,362,876	244,779,646	△14,416,770
退職給付引当資産	18,207,840	18,065,928	141,912	（うち当期活動増減差額）	5,583,230	20,252,534	△14,669,304
施設整備積立資産	20,014,181	0	20,014,181	純資産の部合計	610,153,515	612,363,998	△2,210,483
資産の部合計	647,954,189	655,650,812	△7,696,623	負債及び純資産の部合計	647,954,189	655,650,812	△7,696,623

財 産 目 録

令和 7年 3月 31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価 額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	228,185
普通預金	八十二銀行長野北支店 他	—	〃	—	—	121,640,650
定期預金	八十二銀行長野北支店	—	〃	—	—	60,000,000
	小計					181,868,835
事業未収金	—	—	自立支援給付費2,3月 他	—	—	32,139,021
貯蔵品	—	—	災害用備蓄品	—	—	218,211
立替金	—	—	利用者GH(のくと)入居時 住宅保険料	—	—	9,000
前払金	—	—	GH(サテライト舎)家賃 他	—	—	588,379
	流動資産合計					214,823,446
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	長野市大字徳間 3222番地	H15年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設に使用	29,200,000	—	29,200,000
	長野市大字上駒沢 401番地1	H22年度	第二種社会福祉事業 である、こまざわハウス 施設に使用	10,696,000	—	10,696,000
	長野市大字上駒沢 429番地1	R2年度	第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施 設、スローステップ施設に 使用	67,000,000	—	67,000,000
	長野市大字上駒沢 401番地16		第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設 に使用	15,000	—	15,000
	長野市大字上駒沢 402番地7		第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設 に使用	6,300	—	6,300
	長野市大字上駒沢 401番地15		第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施設 に使用	475,500	—	475,500
	小計					107,392,800
建物	長野市大字徳間 3222番地	H11年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設に使用	227,155,938	112,200,371	114,955,567
	長野市大字上駒沢 429番地1	H22年度	第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒 施設に使用	134,403,476	51,106,924	83,296,552
	長野市大字上駒沢 429番地1	R2年度	第二種社会福祉事業 である、スローステップ 施設、東物置に使用	330,000	208,423	121,577
	長野市大字上駒沢 426番地3	R4年度	第二種社会福祉事業 である、新こまざわ ハウス施設に使用	72,832,300	6,979,761	65,852,539
	小計					264,226,235
定期預金	八十二銀行 長野北支店	—	第二種社会福祉事業 特段の指定なし	—	—	1,000,000
	基本財産合計					372,619,035

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却 累計額	貸借対照表 価 額
(2) その他の固定資産						
建物	長野市大字上駒沢 429番地1他	H18年度～	第二種社会福祉事業 である、ワークス上駒施 設、スローステップ施設に	3,605,307	1,048,705	2,556,602
建物付属設備	防災監視盤 他	H30年度	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設等に使用	1,652,400	1,493,438	158,962
構築物	スローステップ塀・駐車場 他	H12年度～	第二種社会福祉事業 である、フレッシュとくま 施設等に使用	12,507,740	4,835,572	7,672,168
車輛運搬具	トヨタハイエース 他2台	H23年度～	〃	6,043,718	6,043,715	3
器具及び備品	防犯カメラ装置他	H12年度～	〃	34,178,294	29,090,925	5,087,369
有形リース資産	日産セレナ2台	R3年度～	〃	8,797,800	3,017,850	5,779,950
権利	電話加入権	H12年度～	〃	130,000	—	130,000
ソフトウェア	経理ソフト他	H24年度～	〃	5,356,180	5,162,177	194,003
リサイクル預託金	トヨタハイエース 他2台	H23年度～	〃	30,630	—	30,630
その他 固定資産	グループホーム 敷金	H16年度～	第二種社会福祉事業 である、指定共同生活 援助施設で使用	680,000	—	680,000
退職給付 引当資産	県社会福祉協議会 年金共済預け金	—	将来における職員の退 職給付目的	—	—	18,207,840
施設整備 積立資産	利付国債(2年) 第462回	R6年7月	将来における施設 整備目的の為に積 立てている利付国債	20,022,000	7,819	20,014,181
その他の固定資産合計						60,511,708
固定資産合計						433,130,743
資産合計						647,954,189
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	就労事業工賃 他	—	/	—	—	3,525,229
1年以内返済 予定設備 資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—		—	—	1,512,000
1年以内返済 予定リース 債務	八十二カーリース他	—		—	—	1,432,200
預り金	税理士報酬源泉所 得税税預り他	—		—	—	5,405
職員預り金	社保、所得税 他	—		—	—	1,588,250
流動負債合計						8,063,084
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	—	/	—	—	7,182,000
リース債務	八十二カーリース他	—		—	—	4,347,750
退職給付引当金	県社会福祉協議会 年金共済	—		—	—	18,207,840
固定負債合計						29,737,590
負債合計						37,800,674
差引純資産						610,153,515

Ⅱ 各サービス事業の実績

1 指定生活介護事業（定員 17 人） （フレッシュとくま）

令和 6 年度は、利用者に安定した活動を提供し、体調を崩さず安定して継続利用ができるよう支援した。

1 日平均利用者数は 18.2 人で、定員を少し上回る利用者数であった。給付費収入は 25,325 千円で前年度と比べて 607 千円減となった。

（1）主な取り組み

- ・利用者が見通し立てやすいように安定した日中活動を提供した。
- ・利用者が楽しく思えるような活動を検討し、取り入れた。
- ・軽作業を行い、活動にメリハリをつけた。
- ・精神的不調だけではなく内科的不調も早期に発見できるよう、利用者への健康観察を毎日重点的に行った。
- ・希望する利用者には、入浴や洗濯の支援を行った。
- ・利用者のニーズに合った余暇支援（外食や外出等）を取り入れた。

（2）実 績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1 日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和 5 年度	4,205	17.3	40	3
令和 6 年度	4,544	18.2	42	5
比 較	339	0.9	2	2

イ 月別利用実績

令和 6 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均・合計
開 所 日 数	21	21	20	22	19	19	22	20	22	23	20	21	250 日
延 利 用 者 数	383	369	369	425	359	376	417	371	374	366	339	396	4,544 人
実利用者数/月	33	33	34	35	37	36	35	34	37	38	37	35	35.3 人
平均利用者数/日	18.3	17.6	18.5	19.4	18.9	19.8	19.0	18.6	17.0	16.0	17.0	18.9	18.2 人

課題と今後の取組み

- ・活動場所が 4 階である。利用者を見ても階段がある事やフロアの大きさなどが実情に合わない。場所の検討が必要。
- ・継続利用者が多数のため高齢化が止まらない。高齢者対応の支援が求められる。
- ・引き続き利用者の毎日の健康観察を重視する。

資 料（令和 7 年 3 月 31 日現在）

年代別数 (人)

性別 数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
男 26	0	0	2	10	14
女 16	0	3	1	5	7
計 42	0	3	3	15	21

障害支援区分別数 (人)

性別 数	区分 2	区分 3	区分 4
男 26	17	7	2
女 16	9	6	1
計 42	26	13	3

2 指定短期入所事業（定員 3 人）（フレッシュとくま）

宿泊型訓練の体験利用だけでなく、レスパイト目的の利用者や定期利用者も受け入れした。

1 日平均利用者数は 1.3 人だった。給付費収入は 2,190 千円で前年度に比べて 946 千円増であった。

(1) 主な取り組み

- ア さまざまな利用目的に対応し受入れをした。
- イ 家族、ケアプランナー、病院のケースワーカーと連携をした。
- ウ 病院からの地域移行の体験利用で受入れをした。

(2) 実 績

ア 年度比較 (人)

年 度	延利用者数	1 日平均利用者数	実利用者数
令和 5 年度	285	0.7	24
令和 6 年度	464	1.3	23
比 較	179	0.6	△ 1

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
延利用者数	32	37	67	60	33	39	37	31	40	36	29	23	464人
平均利用者数/日	1.1	1.2	2.3	2.0	1.1	1.3	1.2	1.1	1.3	1.2	1.1	0.8	1.3人

課題と今後の取り組み

- ・定期利用者の利用目的によっては入所に繋がるよう働きかける。
- ・緊急対応を求められることも多いが、行政等関係機関と連携を密にして対応したい。

3 指定自立訓練（宿泊型）事業（定員17人）（フレッシュとくま）

令和6年度は、年度当初は11人の入所者であった。2年間の入所期間を全うして退所になった者もいるが、夜間無断外出したまま戻らず、そのまま入院になったケースや、入所者間のトラブルにより別の住まいを探さざるを得なくなった者、万引き等の犯罪を繰り返し、入所継続が困難になった等の退所者が相次いだ。

1人がライフサポートりんどうのグループホーム（サテライト）に移り、別法人のグループホームへ3人、単身アパートへ1人、転居した。2人が精神科病院へ入院、2人が自宅へ帰った。精神科病院から3人、自宅から4人入所し、年度末には9名にまで減った。

1日平均利用者数は9.7人であった。給付費収入は26,292千円で前年度に比べ4,799千円増となった。

（1）主な取り組み

ア 個別支援計画に基づいて質の高い支援

- ・3ヶ月ごとの振り返りを行い、要望等を聞き取りニーズに反映した。

イ 利用者の確保

- ・年間を通して医療機関、行政等との情報交換や協力をお願いした。

ウ 安全で衛生的な環境への配慮

- ・新型コロナウイルス感染予防の徹底のため、継続して食事用テーブルにパーテーションを設けた。
- ・毎日2回の検温を実施した。
- ・マスク着用の徹底をした。
- ・防災設備の定期的な点検、維持を行った。
- ・防災訓練を毎月実施した。
- ・生活の場にふさわしい快適な環境を提供した。

(2) 実績

ア 年度比較

(人)

	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和5年度	3,272	8.9	15	4
令和6年度	3,507	9.7	17	9
比較	235	0.8	2	5

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日
延利用者数	350	332	323	356	291	255	279	270	235	264	275	277	3,507人
実利用者数/月	12	11	11	12	10	9	10	9	9	9	10	11	10.3人
平均利用者数/日	11.7	10.8	10.8	11.5	9.4	8.5	9.0	9.0	7.6	8.6	9.9	9.0	9.7人

課題と今後の取り組み

- ・医療観察法の対象者の途中退所や、利用者間のトラブルなどで退所者が相次いでいる。
- ・入所者を増やしていく必要がある。

資料（令和7年3月31日現在）

年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
男 7	0	1	1	2	2	1
女 4	0	0	1	2	1	0
計 11	0	1	2	4	3	1

障害支援区分別数

(人)

区分1	区分2	区分3	区分4	不明
1	5	1	1	3

市町村別

(人)

長野市	飯綱町	山ノ内町	飯山市
8	1	1	1

4 指定自立訓練（生活訓練）事業（定員6人）（フレッシュとくま）

自宅からの通所利用者2名が、ゆったりんどう（就労継続B型事業所）に移り週2～3日の利用をしている。宿泊型の利用者は就労継続A型事業所の利用につながったり、「病院に戻りたい」と入院により退所になった者もいた。

宿泊型入所の時点から退所後に地域生活へ結びついていけるか自体が厳しい状況の者もいるため、見通しを立てながらの対応が必要と考えている。

延べ契約者数は14人で昨年度より1人減少し、1日平均利用者は、5.1人で昨年より0.7人減となった。給付費収入は13,234千円と昨年度より1,135千円減となった。

建物の老朽化は対策を急ぐ必要がある。

（1）主な取り組み

- ・その人らしい生活ができるよう、自主性・自発性を尊重した。
- ・個別支援計画に基づき個人の目標を都度確認し、その方向性に合わせ支援をした。
- ・主に退所後の生活の場などに合わせた、生活スキルが身につくよう支援した。

（2）実績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和5年度	1,391	5.8	15	5	8
令和6年度	1,224	5.1	14	8	3
比 較	△167	△0.7	△1	3	△5

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	21	21	20	22	18	19	22	20	20	19	18	20	240日
延利用者数	140	112	106	132	97	93	110	93	92	88	84	77	1,224人
実利用者数/月	11	9	9	9	9	7	7	6	6	6	6	6	7.6人
平均利用者数/日	6.7	5.4	5.3	6.0	5.4	4.9	5.0	4.7	4.6	4.7	4.7	3.9	5.1人

課題と今後の取り組み

- ・宿泊型自立訓練の職員との連携は今後もより密にしていく。
- ・利用期間終了後の生活について、色々なパターンをより具体的にイメージできるような支援をしていく。

資料（令和7年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
男 5	1	1	0	2	1
女 2	0	0	0	2	0
計 7	1	1	0	4	1

障害福祉サービス支給市町村 (人)

性別 数	長野市	千曲市	飯山市	飯綱町	中野市	木島平村
男 5	2	0	1	1	1	0
女 2	2	0	0	0	0	0
計 7	4	0	1	1	1	0

5 指定共同生活援助事業（定員27人）（グループホーム）

令和6年度もグループホームごとの特色を出し運営に当たった。

「こまざわハウス」では食事提供をし、居室の掃除、洗濯、金銭相談、各種手続きを利用者で行うなど手厚い支援をした。また、必要な利用者に対しては同行受診を行った。

「いなだの家」では、利用者ができることをより増やせるようにグループホーム内の掃除、夕食の片づけ等の当番活動を実施した。地域に馴染んだ生活ができるようにグループホームの周りの草取り、地区のゴミ当番、清掃へ参加した。

「のくとまーる」では、1週間に1回～2週間に1回、居室を訪問し生活の様子（食事、掃除、金銭の状況、薬、体調等）の確認をした。

サテライト型グループホームへの利用希望があり、新たに開設した。

1日平均利用者数は22.2人で前年度に比べ1.9人増となった。給付費収入は30,177千円で前年度に比べて1,470千円減となった。特別加算の対象者の加算期間が終了し、給付費収入減となった。

（1）主な取り組み

ア 日常生活について

- ・調理、掃除、買い物、金銭管理、服薬確認等を補助した。
- ・家族、日中活動先等の連絡調整を行った。
- ・対人関係、日常生活の不安や課題へ相談支援を行った。

イ 地区交流事業について

- ・地区の清掃事業に参加（河川・側溝・公園・神社等）。

ウ 日常支援について

- ・日中世話人が住居を巡回して在宅の利用者の支援を行った。

(2) 実績

ア 年度比較表

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者	新規利用者数	解約者数
令和5年度	7,395	20.3	22	5	5
令和6年度	8,104	22.2	27	3	2
比 較	709	1.9	5	△2	△3

イ 月別利用実績表

(人)

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数	628	674	652	678	701	674	691	688	704	700	632	682	8104
実利用者数/月	20	21	23	21	21	23	20	21	22	22	23	22	259
体験利用者数	0	0	0	1	2	0	1	1	1	0	0	1	7
平均利用者数/日	20.9	21.7	21.7	21.8	22.6	22.4	22.2	22.9	22.7	22.5	22.5	22.0	22.2

課題と今後の取り組み

- ・高齢な利用者に対しては本人や家族と相談しながら地域包括支援センターと連携しながら介護保険サービスの導入を検討していく。
- ・一人暮らし生活を希望する利用者に対しては一人暮らし生活ができるように助言、支援を引き続き行う。
- ・日中活動先に体調不良等で欠席した利用者に対して日中支援していく。
- ・長期入院する状態になる前に医療関係者と連携を取り、対応する。
- ・今後も新規利用者を積極的に受け入れていく。

資 料 (令和7年3月31日現在)

年代別数

(人)

性別 数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
男 15	0	4	1	6	4
女 8	1	0	4	2	1
計 23	1	4	5	8	5

障害支援区分別数

(人)

施設	区分1	区分2	区分3	全体
こまざわハウス	0	6	4	10
いなだの家	1	2	2	5
のくとまーる	2	4	2	8
合計	3	12	8	23

市町村別

(人)

長野市	千曲市	須坂市	佐久市	麻績村	小川村	信濃町	木島平村
14	3	1	1	1	1	1	1

6 指定自立生活援助事業（定員なし）（自立生活支援室）

今年度は3人に対して定期訪問し日常生活の見守りや金銭管理等、安定した一人暮らしの定着に向け支援を実施した。必要な時には同行をして支援した。生活面については居宅介護事業等必要なサービスを導入し地域での生活を継続できるように支援した。新たに一人暮らしを始め、本サービスの利用を希望する者が少なかった。実利用者数は3人で、任期満了のため利用者数は0人となった。給付費収入は319千円で前年度に比べて445千円減となった。

（1）主な取り組み

ア 状況確認について

- ・ 定期的な訪問・面接等により本人の生活状況を把握した。
- ・ 必要に応じ銀行や医療機関等へ同行し手続等を一緒に行った。

イ 相談について

- ・ 訪問及び面接時に困っていることや不安に思っていること等の相談を受け、解決に向けて一緒に取り組んだ。
- ・ 利用終了時を考え必要なサービスの情報提供や利用に向けての支援をした。
- ・ 手続き（公共料金の引き落とし・市役所での住所変更等）に同行し支援した。

ウ 関係機関との連絡調整

- ・ 相談支援専門員はじめ、日中の利用施設など関係機関との連絡調整を行った。
- ・ 課題等の解決に向けての話し合いを開いた。

(2) 実績

ア 年度比較

(人)

年 度	実利用者数	新規利用者数	解約者数
令和5年度	6	3	3
令和6年度	3	0	3
比 較	△3	△3	0

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開 所 日 数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	18	20	240日
延 支 援 回 数	10	15	9	4	4	4	4	6	0	0	0	0	56回
登録実人数/月	3	3	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1.1人

課題と今後の取組

- ・グループホーム退所する利用者や宿泊型自立訓練の退所する利用者、病院から退院した利用者に対して、本サービスの情報を伝え利用者確保に努める。
- ・一人暮らし等新しい生活に慣れ、地域に馴染めるように重点的に支援をする。
- ・金銭管理の面で支援が必要な方に対しては早い段階で社会福祉協議会の日常生活自立支援事業利用の導入を図る。

資 料 (令和7年3月31日現在)

年代別

(人)

30代	40代	50代	60代	70代
0	0	2	0	1

障害認定区分

(人)

なし	区分2
0	3

市町村

すべて長野市

7 指定就労継続支援B型事業 ワークス上駒（定員34人）

屋内作業の受注は徐々に増えてきており、新たに新規の箱折り業者と契約をしたことから屋内作業の収入は増えた。

屋外作業に関しては清掃業務、除草作業の回数が減り収入は減となっているが、新規で民泊作業、ボーロの作業を開拓し収入減を最小限に抑えられている。

今年度の平均工賃は26,451円で前年度に比べ2,167円減少した。

新規での利用者が増えず退所者がいたため今年度の平均利用者数は27.1人と1.2人減少した。給付費収入は50,774千円と前年度に比べて868千円増となった。

（1）主な取り組み

- ・新規企業との契約。
- ・現状の利用者の日数と時間の増加
- ・養護学校の実習生の受け入れ
- ・ハローワークへの登録、求人情報の提示、就労継続支援A型への移行などの就労支援
- ・パンフレットを作り直し、関係機関へ配布

（2）実績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	新規契約者数	解約者数
令和5年度	6,792	28.3	36	6	9
令和6年度	6,542	27.1	38	2	1
比 較	△250	△1.2	2	△4	△8

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	21	21	20	22	18	20	22	20	20	19	18	20	241日
延利用者数	596	574	547	588	466	512	606	516	532	528	506	571	6,542人
実利用者数/月	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38.0人
平均利用者数/日	28.3	27.3	27.4	26.7	25.8	25.6	27.5	25.8	26.6	27.8	28.1	28.6	27.1人

課題と今後の取り組み

- ・新規利用者の確保
- ・養護学校の実習生や各機関へのパンフレット配布
- ・新規作業の開拓

資料（令和7年3月31日現在）

年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
男 26	1	4	3	7	8	4
女 11	0	2	1	0	4	4
計 38	1	6	4	7	12	8

月別工賃支給状況

(小数点以下切り捨て)

月	支給人員 (人)	工賃支給金額 (円)	
		月平均額	月最高額
4	38	18,242	47,690
5	37	18,923	50,410
6	36	17,000	47,660
7・賞与	37	48,401	120,880
8	35	16,528	39,280
9	36	18,236	38,130
10	36	19,999	57,050
11・賞与	37	59,196	130,111
12	36	14,836	30,700
1	38	14,326	41,850
2	37	15,210	44,820
3・賞与	38	56,646	145,119
平均月額		(R6年度) 26,451円	(R5年度) 28,618円

8 指定就労継続支援B型事業 ゆったりんどう（定員14人）

コロナ禍が過ぎ、数年ぶりに地元小学校の学校行事への参加のお声掛けをいただき、交流を持つことができた。今後も地域行事などに参加できるよう体制を作っていきたい。

就労継続支援B型事業所の新規開設などもあり、他の事業所へ移った利用者もいたため、1日平均利用者数は減少した。

利用者が安定して取り組むことの出来る作業の量の確保が厳しい状況であったため対応に試行錯誤した。1日平均利用者数は13.0人で前年度に比べ0.7人減となった。給付費収入は24,266千円で前年度に比べ477千円減となった。

(1) 主な取り組み

- ・利用者の多様なニーズに合わせた作業と働く場の提供
- ・地域と連携した生産活動に取り組む
- ・外出等余暇活動などの充実

(2) 実績

ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和5年度	3,279	13.7	33	5	9
令和6年度	3,141	13.1	35	3	2
比 較	△138	△0.6	2	2	△7

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開 所 日 数	21	21	20	22	18	19	22	21	20	19	18	20	241日
延 利 用 者 数	271	273	268	305	243	267	304	271	260	247	212	220	3,141人
実利用者数/月	26	28	28	28	29	28	28	29	28	28	26	26	27.7人
平均利用者数/日	13.0	13.0	13.4	13.9	13.5	14.1	13.9	12.9	13.0	13.0	11.8	11.0	13.0人

課題と今後の取り組み

- ・多様な利用者の多様な作業に対応できるスペースが必要になっている。
- ・建物の老朽化は対策を急ぐ必要があり、環境整備は急務。
- ・作業内容や量の確保、安定的に取り組める作業を提供していただける企業など、新規開拓をしていく。

資 料 (令和7年3月31日現在)

年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男 16	0	2	5	3	3	3
女 12	0	0	2	6	3	1
計 28	0	2	7	9	6	4

月別工賃支給状況

月	支給人員 (人)	工賃支給金額 (円)	
		月平均額	月最高額
4	29	5,105	8,203
5	29	4,283	5,157
6	29	3,449	4,100
7	29	5,386	6,469
8	29	4,360	5,281
9	30	6,239	7,524
10	31	5,356	6,324
11	31	5,896	6,987
12	30	6,867	8,241
1	29	5,267	6,392
2・賞与	29	4,870	5,795
3	29	6,139	6,855
平均月額		(R6年度) 5,268円	(R5年度) 4,985円

9 指定就労定着支援事業（定員なし）（ワークス上駒 就労定着支援室）

就労定着支援のサービスを継続するための要件を満たせなくなったため、サービスは令和6年7月末で終了となった。契約していた利用者の期限が10月末までだったため期限までは訪問等の支援を継続した。

(1) 実績

ア 年度比較

(人)

年度	契約者数	新規利用者数	解約者数
令和5年度	2	0	1
令和6年度	1	0	1
比較	△1	0	0

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	平均・合計
開所日数	21	21	20	22	84日
延べ支援回数	2	2	2	2	8回
登録実人数/月	1	1	1	1	1人

10 指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）（相談室）

地域移行支援の依頼はあったもののサービスの利用までには至らなかった。地域定着支援では、令和5年度と変わらない登録者数だった。緊急時の支援としては、利用者の体調不良による対応を行った。

（1）主な取り組み

- ・地域移行支援（地域移行支援計画の作成等、地域生活移行のための相談、外出同行、障害福祉サービスの体験利用、体験的な宿泊支援）
- ・地域定着支援（地域定着支援台帳作成、連絡体制の確保、緊急時の状況把握・対応等）
- ・連携による地域生活支援（関係機関との連携強化）

（2）実 績

ア 地域移行支援

年 度	利用実人数	利用延月数	利用延人数	継続支援者数
令和5年度	1人	2か月	8人	1人
令和6年度	0人	0か月	0人	0人
比 較	△1	△2	△8	△1

イ 地域定着支援

年 度	利用実人数	利用延人数	緊急時支援
令和5年度	7人	74人	0回
令和6年度	7人	74人	2回
比 較	0	0	2

課題と今後の取り組み

- ・地域移行支援では、退院支援の実情に合わせて受け入れ体制について検討していく。
- ・地域定着支援では、利用者の高齢化に向けて検討していく。

11 指定特定相談支援事業（相談室）

令和6年度は、専任1人、兼務5人の相談支援専門員がサービス等利用計画の作成を行った。利用者のニーズにあわせた福祉サービスの支給とより本人の意向に合う事業所の利用に向け調整やサービスの状況の確認を行った。また、相談支援専門員やサービス管理責任者の更新研修などの管理を行った。

（1）主な取り組み

- ・生活全般に関わる一般的相談、電話・訪問相談、情報提供、関係者間の連絡調整
- ・サービス等利用計画の作成（サービス利用支援、継続サービス利用支援）
- ・専門性の更なる向上のため研修等に参加

（2）実 績

サービス等利用計画作成件数 (件)

	サービス利用支援	継続サービス利用支援
令和5年度	234	453
令和6年度	209	439
比 較	△25	△14

課題と今後の取り組み

- ・依頼があれば新規計画相談の受け入れをし相談件数の維持に努める。
- ・サービス管理責任者と相談支援専門員資格の更新研修受講の漏れが無いように管理していく。また、各資格研修を計画的に受講できるようにしていく。

12 指定居宅介護・重度訪問介護事業（定員なし）（ヘルパーステーションてくてく）

身体介護、家事援助、通院等介助、すべてにおいて利用回数は増加した。新規契約者が8人あった。解約者は入院、死亡等で2人、支援の必要がなくなった者が5人で実利用者数が36人となった。

今年度、普段身体介護支援と一緒に家事を行っている利用者が、感染症罹患や手術後で買い物等できないため、家事援助支援を行うことが多かった。

新規利用者では、今は家族と同居しているが、今後の生活変化を考慮して支援を開始した。

給付費収入は7,205千円で昨年度より1,532千円増となった。

（1）主な取り組み

- ・安定した地域生活の継続のために利用者へ日常生活及び社会生活の総合的支援
- ・調理・洗濯・掃除・買物・通院介助・その他必要な援助
- ・必要に応じて健康や日常生活上の相談や助言

（2）実績

ア 年度比較

	実契約者数	延支援時間	延支援者数	新規利用者数	解約者数
令和5年度	30人	909.5時間	893人	9人	2人
令和6年度	36人	1,100時間	1,078人	8人	7人
比較	6人	190.5時間	185人	△1人	5人

イ 月別利用実績

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	21	21	20	22	18	19	22	20	20	20	18	20	241日
延支援時間	89.0	78.0	81.5	98.0	75.0	92.5	104.5	98.0	89.0	99.0	94.0	101.5	1100時間
登録実人数/月	28	28	28	28	29	30	30	29	28	30	31	31	29.2人

課題と今後の取り組み

- ・相談支援専門員等と連携し、今後の生活状況変化を見据えて支援開始できるように取り組む。
- ・通院等介助支援で、通院時同行し、利用者状況の伝達と主治医からの指示内容が理解できるよう支援する。

Ⅲ 法人支援組織の活動状況

1 令和6年度 長野りんどう会後援会の状況

長野りんどう会後援会は、会員の皆様の温かいご支援に支えられ、本年度で設立より25年の歳月が経とうとしています。会員数は年間最大で360人弱、延べ人数6,000人余り、法人への寄付は総額2,400万円を超え今日まで運営してまいりました。

現在、長野りんどう会が地域の障害福祉を支える存在となれましたのも、ひとえに、後援会員お一人お一人のご支援の賜物と感謝しております。

しかし近年は、高齢化や会員数の減少による役員の担い手不足などの諸問題に本会も直面していることは、今までも本日よりみなさまにお知らせしてきました。

この度、平成26年から11年にわたり会長を務めていただいた大塚会長より、諸事情により本会会長を退任されたいとのご意向をうけ、後任の人事を進めてまいりました。しかしながら、前述の通り、役員を引き受けていただける方もおらず、現会長、副会長他役員の方とも話し合い、本年6月20日（金）の総会に、長野りんどう会後援会を解散とさせていただくこととお諮りしたらどうかということになりました。

なお、今後は法人へ直接ご寄付のご協力をお願いしたいと考えております。振込用紙等は、次号の会報誌（令和7年11月号）に同封させていただく予定です。

突然のご連絡となり大変に恐縮ですが、今後も引き続き、社会福祉法人長野りんどう会にみなさまの温かいご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

皆様のご健勝を役職員一同、心よりお祈り申し上げますとともに、これまでのひとかたならぬご支援に感謝申し上げます。

(1) 事業報告

☆長野りんどう会後援会総会 令和6年6月21日（金）長野りんどう会ワークス上駒にて
対面により開催

☆後援会ニュース発行

会報長野りんどう No. 69 後援会だより Vol. 66 (R6年11月)
会報長野りんどう No. 70 後援会だより Vol. 67 (R7年5月)

☆会員の推移

令和6年度 102名	平成12年度 83名	平成13年度 336名	平成14年度 314名
	平成15年度 316名	平成16年度 357名	平成17年度 306名
	平成18年度 329名	平成19年度 323名	平成20年度 308名
	平成21年度 324名	平成22年度 287名	平成23年度 306名
	平成24年度 283名	平成25年度 256名	平成26年度 221名
	平成27年度 210名	平成28年度 210名	平成29年度 195名
	平成30年度 200名	令和元年度 183名	令和2年度 182名
	令和3年度 141名	令和4年度 134名	令和5年度 110名

☆支援活動

社会福祉法人長野りんどう会への支援 (寄付) 令和6年11月22日

(2) 長野りんどう会後援会会計報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位：円

収 入			支 出		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
会 費	339,000	会員 102名	事 務 費	0	
雑 収 入	39		印 刷 費	37,895	後援会だより
繰 越 金	157,722	前年度より	役 務 費	10,397	郵便振替料
			寄 付 金	300,000	長野りんどう会へ
			郵 便 費	3,024	資料郵送料
合 計	496,761		合 計	351,316	

収入合計 496,761円 支出合計 351,316円 差引残高 145,445円

(長野りんどう会へ寄附)

会 計 監 査 報 告

令和6年度の社会福祉法人長野りんどう会後援会の収入支出について監査したところ、関係諸帳簿等が正確に処理されており、その内容がいずれも適正であると認めます。

令和7年6月13日

監事 春日 桂子 ㊟

監事 竹腰 清宏 ㊟

社会福祉法人長野りんどう会後援会

会 長 大 塚 富 男 殿

2 令和6年度 ボランティア活動状況

実施月	場 所	人数（人）
R 6 年 4 月	スローステップ（自立訓練）	7
5 月	〃	7
6 月	〃	8
7 月	〃	6
8 月	〃	4
9 月	〃	6
10 月	〃	6
11 月	〃	5
12 月	〃	5
R 7 年 1 月	〃	5
2 月	〃	6
3 月	〃	4
合計	〃	69

3 令和6年度 ライフサポートりんどう家族会の状況

1 今年の情勢

4年ぶりに定期総会を対面式で開催。家族の要望もあり、家族の日を毎月最終金曜日に定期開催することとした。またコロナ後停止していた学習会や交流会などの事業も再開し、コロナ前の活動を実施することができたが、家族の高齢化の問題もあり、参加者が予想より少なく、実施内容や日程など検討が必要。

2 事業の主なもの

- (1) 会議 ・総会 1回 ・幹部会 1回 ・監査会 1回
- (2) 親睦交流会 ・家族会交流会 R6年6月29日（定期総会終了後）
今後の家族会の活動についてなどフリートーク
・家族会交流会 R7年3月14日 「当事者を取り巻く社会資源を学ぶ」
- (3) 研修会 ・「家族の日」 毎月最終金曜日 内容：フリートーク
R6年5月31日 6名参加 R6年7月26日 2名参加
R6年8月30日 4名参加 R6年9月27日 6名参加
R7年2月28日 1名参加
※6月、10月、11月、3月はそれぞれ家族会の行事やながのかれんの研修への参加に振替。12月～1月は参加者なく開催なし
・会員学習会 R6年11月15日
「単身になってもお家で生活ができる」をテーマに単身における医療と福祉のサービスについて講義
- (4) 啓発活動 ・機関紙「とくまの風」発行 No.232～No.238
※R3年度から毎月発行から不定期発行に変更
・月刊誌「みんなねっと」「こころの元気+」団体購読推進
- (5) その他 ・古紙回収事業 7,380kg（昨年7,450kg）
・令和6年度会員数 93名（幹部会員4名 代議員17名）
・「後援会」への参加協力
・社会福祉法人長野りんどう会への運営協力（評議員参加）

3 会計報告

・収入	340,482円	・支出	192,790円	・収支残額	147,692円
内訳		内訳			(次年度へ)
繰越金	131,290円	会議費	11,600円		
会費	93,000円	負担金	42,000円		
事業収入	116,120円	通信費	54,432円		
雑収入	72円	旅費	2,092円		
		報償費	3,570円		
		事業費	76,245円		
		雑費	2,851円		

令和 6 年度 役員等名簿

	氏 名	就任年月日	任 期	備 考
理 事	小 平 恵 子	R 5. 6. 26	R 7 年度定時評議委員会 の終結の時まで	
	小 林 千佳子	〃	〃	常務理事
	轟 純 一	〃	〃	
	藤 澤 敏 明	〃	〃	副理事長
	松 橋 良 三	〃	〃	理事長
	宮 尾 美 代 子	〃	〃	
	和 田 恭 良	〃	〃	
監 事	塩 澤 一 郎	R 5. 6. 26	R 7 年度定時評議委員会 の終結の時まで	
	丹 後 恵 二	〃	〃	
評 議 員	大 塚 富 男	R 3. 6. 28	R 7 年度定時評議委員会 の終結の時まで	
	大 日 方 眞 理 子	〃	〃	
	金 子 む つ 江	〃	〃	
	鎌 田 泰 太 郎	〃	〃	
	小 出 恭 彦	〃	〃	
	小 林 淑 朗	〃	〃	
	野 口 英 俊	〃	〃	
	八 木 和 久	R 5. 6. 27		
評議員選任・ 解任委員	金 子 伸 雄	R 5. 6. 27	R 7 年度定時評議委員会 の終結の時まで	
	塩 澤 一 郎	R 3. 6. 28	〃	
	西 澤 秀 一	R 6. 4. 1	〃	
第三者委員	黒 柳 み よ	R 6. 4. 1	R 8. 3. 31	
	富 田 洋 子			

令和7年度 職員名簿

令和7年4月1日現在

区分	職名	氏名	区分	職名	氏名	
本部事務	事務長	西澤 秀一	ゆったりんどう	管理者（施設長）	（風間 杏子）	
	事務員	田村 郁雄		副施設長・職業支援員・訪問支援員	山口 和嘉	
	事務員	荒井 里美		生活支援員	山崎 玲香	
	事務員	田村 あけみ		生活支援員	和田 美佐江	
フレッシュユとくま	管理者（施設長）	風間 杏子		サービス管理責任者	小林 清美	
	サービス管理責任者	武井 綾		生活支援員	清水 絵里奈	
	生活支援員	佐藤 和香		生活支援員（送迎）	下谷 泰憲	
	地域移行支援員・生活支援員	本山 葉月		生活支援員	（荒井里美）	
	生活支援員	小林 孝子		相談室	管理者（施設長）	風間 杏子
	生活支援員	巾 招幸			副施設長・相談支援専門員	萩原 ゆりか
	生活支援員	北澤 美枝子	相談支援専門員		（山口和嘉）	
	生活支援員	一戸 直子	相談支援専門員		（山崎玲香）	
	看護職員・生活支援員	和田 美知子	相談支援専門員		（小沼淳一）	
	看護職員	池田 英利子	相談支援専門員		（高野裕朗）	
	生活支援員・調理員	池田 けさ美	グループホーム	管理者（施設長・サビ管）	北澤 純子	
	生活支援員（送迎）	（下谷 泰憲）		生活支援員	四柳 美保子	
	生活支援員（日直）	養田 正晃		世話人	小沼 淳一	
	当直職員	橋本 雅男		世話人	傳田 由香	
当直職員	土屋 富男	世話人		八田 眞美		
当直職員	小林 健一	世話人		中澤 文江		
		世話人		（西澤 秀一）		
		世話人		（田村 あけみ）		
		世話人		（荒井里美）		
		看護職員		（池田英利子）		
ワークス上駒	管理者（施設長）	（風間 杏子）	自立生活支援室	管理者（施設長・サビ管）	（北澤 純子）	
	副施設長・サービス管理責任者	上野 和昭		自立生活支援員	（四柳 美保子）	
	職業指導員	高野 裕朗	（居宅介護）	管理者（施設長・支援員）	（小林 千佳子）	
	職業指導員	関 涼太		サービス提供責任者・支援員	前山 沙織	
	生活支援員	松本 かん奈		支援員	（山崎 玲香）	
	生活支援員	内田 俊之		支援員	（本山 葉月）	
	職業指導員	白谷 久美子		支援員	（四柳 美保子）	
	生活支援員	大峽 幸良		支援員	（田村 あけみ）	
	目標工賃達成指導員	（田村 郁雄）				
	生活指導員	（和田 美佐江）				

発 行 者 社会福祉法人長野りんどう会
発 行 日 令和7年8月

〒381-0041 長野市大字徳間 3222
Tel 026-239-7077
Fax 026-239-7070

e-mail: l.s.r@bg.wakwak.com

URL: <https://nagano-rindou.jp/>